



季刊 Sunshine

2023
立夏号

発刊元：株式会社 Sunshine 福島県二本松市若宮 1-127 <https://re100sunshine.jp>
発刊日：2023年5月6日

『じりっ』—株式会社 Sunshine の企業理念

農業法人・株式会社 Sunshine の企業理念について紹介します。私達は「自立・自律・侍立」を理念として掲げています。

▶**自立した地域社会**を作るために地域からのボトムアップとはよく言われますが、いきなり実現するわけではありません。自立には経済的裏付けも必要ですし、自らを厳しく律していくトレーニングも必要です。そうして初めてお互いのために付き従って立つ侍立が成立します。侍立とは高貴な者のそばに仕えるという意味ですが、今や身分に関係なくお互いを高貴な存在として支え合う時代です。私はこの思いを込めて、農業法人の経営理念を「自立・自律・侍立」としました。今回は農業の師匠、大内信一さんから教わった農業の技を例にお伝えしていこうと思います。▶**よらば大樹の陰** これは、長い者にまかれろ、おこぼれに預かれという意味ではなく、大樹は大樹の理由がある。長年の風雨に耐えてきた知恵と技があるのだから、そこから学びなさいとの教えです。自らの足で立たない＝経済的裏付けが薄弱なままでは、いつまでたっても自分で土から養分を吸い上げることはできないのですから、最初は大樹の影で嵐から身を守らせてもらいつつ、自らも大樹に育つように経済的自立を目指すことが重要だと考えています。株式会社 Sunshine は、まだ太陽光発電事業の利益が経済的源泉の大部分を占めますが一刻も早く自立を果たしたいと日々修練しています。

▶自らを律することについて。これは『**下枝を切れ、切らねば親木は育ため**』とのアドバイスがあります。ナスの育て方のように、上へ伸びるための下枝の剪定は欠かせません。剪定と簡単に言いますが、枝を落とすにはそれなりの痛みを伴うものです。せっかく育った枝を切るには勇気があるものですが、それが親木を育てることに繋がるのであれば、時にすすんで切らねばならないのです。そして、意外にこのことをおろそかにしていることが多い。▶最後にお互いのために立つ侍立ということ。『一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、死んだなら**豊かに実を結ぶようになる**』多くの人の指針になっている聖書の言葉でもありますが、私達のゴールは自己肥大でも自己抑制でもなく、循環・新陳代謝を繰り返す、常に新しいものと入れ替わる豊かなゆらぎだと感じています。次回は、5月19日から予定されている牛の放牧をレポートします。(近藤恵)



ぶどうの新梢



2頭の牛が仲間になります！

新商品のご紹介

こちらのQRコードから！→



太陽の
エゴマオイルカプセル

¥3,600

エゴマ油をカプセルにしました。
1日4粒で手軽にαリノレン酸を
摂取できます！



太陽の煎りエゴマ

¥580

エゴマを香り高く焙煎しました。
ご飯やサラダにかけて美味しく！
すり潰して和物にも。

Sunshine Quiz

～ 答え合わせ編 ～

次のうち、Sunshine で栽培している
ぶどうの芽はどれでしょう！？

A. 2

1



シャクナゲ

2



ぶどう

3



キウイ